



SUPERBIKE

EXtra, EXpert and EXtreme

EXPRESS--

JSB 1000
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

好調、高橋巧がレコードを更新してポールポジション! 中須賀克行も意地を見せるか!? ヨシムラ津田、Team GREENの渡辺・柳川もトップを狙う!!

ここ数年、開幕戦の舞台となっていたツインリンクもてぎが、今年はシリーズ第3戦として5月の開催となった。天気には恵まれたが、初日は路面コンディションがよくなり、転倒車が続出。赤旗中断も少なかった。そんな中、金曜日にトップタイムをマークしたのは、ヨシムラの津田拓也だった。今シーズンは、開幕戦鈴鹿、第2戦オートポリスと、序盤はトップ争いに絡むものの中盤から終盤にかけて遅れてしまっていた。課題は明確なだけに、今回は、事前テストから取り組み方を変え、その成果が初日から出ている。

土曜日は、初夏を思わせる暑さとなった。気温は、27度とまだ30度オーバーにはならなかったが、日差しは強く、路面温度は最高で50度まで上がっていた。このタイヤに厳しいコンディションの中、JSB1000クラスの公式予選はノックアウト方式で行われた。まず41台が出走したQ1では、高橋巧が1分49秒488をマークしてトップタイム。津田、中須賀、渡辺と1分49秒台で続き、柳川明、山口辰也、加賀山就臣が1分50秒台で続いた。8番手には、今野由寛が食い込み、今シーズン初めてQ2に進出。9番手に野左根航汰、10番手に酒井大作という10人がトップ10チャレンジにコマを進めた。

前戦のオートポリスで今季初優勝を飾り、事前テストから好調をキープしている高橋は、金曜日こそ、いい流れではなかったと言っていたが、予選では常に単独でタイムを出しておりノレている状態だ。Q2

が始まると、すぐにコースインせず、やや間隔を空けてピットアウトする。この高橋を中須賀はマーク。高橋が出て行くのを見て、中須賀もピットアウトする。タイムアタックに入る2台のマシンは、区間ベストを更新しながらコーナーをクリア。コントロールラインを通過すると高橋が1分48秒803をマーク。秋吉耕佑が2010年に記録していた1分49秒019というコースレコードを更新してポールポジションを獲得した。「最高峰クラスでは2回目のポールポジションですけれど、1回目は、3回目のセッションが中止になって結果的になっただけなので、今回が初めてのようです。前回は、中須賀選手がケガをしていたのも勝てた要因になっているので、今回は、しっかり戦って勝ちたいです」と高橋。

中須賀も1分48秒882と、それまでのコースレコードを上回るチムをマーク。第2戦オートポリスのときに比べれば体調もよくなっている。「身体の状態は、80~90%ぐらいですね。前回は、高橋選手に楽なレースをさせてしまったので、今回は、バトルをしてファンの皆さんによるこんでもらえるレースにしたいですね」と中須賀。

ここまで2戦を終えて、優勝1回、2位1回とポイント上では、全く並んでいるだけに今回、前でゴールした方がイニシアチブを握ることになる。シーズンの流れを占う上でも負けられない一戦になるのが間違いない。この2人が今回のレースでもカギを握る

存在となっている。

津田、そしてTeam GREENの渡辺、柳川もトップグループに絡みたいところだ。津田は「今回こそ最後までトップ争いに加わり、優勝を狙えるところになりたい」とコメント。マシンセットもうまく進み手応えを感じていると言う。渡辺は、区間ベストを足していけばポールに近いタイムが出ているが1周をうまくまとめられないと言う。決勝でどんな走りを見せるか注目したいところだ。そして柳川は、まだシーズンオフに負ったケガの状態が痛むと言うが、「気合いと根性で19周を乗り切る。もちろん勝負するよ!」と自分自身に気合いを入れていた。

6番手の山口も自己ベストを更新。市販キット車ながら1分49秒台は、驚異的なタイムだと言える。一方、加賀山は、まだ本来の実力を発揮できておらず、苦戦が続いている。

高橋は、好調だがスタートからレース序盤のペースの作り方の課題は残っている。スタートで前に出てレースを引っ張るのが理想だろうが、それは中須賀も同じこと。スタートダッシュでは、中須賀に分があるだけに、レース序盤の駆け引きに注目したい。ペースによっては、トップ6が混戦になる可能性もあるだろう。ペースが速ければ高橋と中須賀が抜け出すかもしれない。19周後のチェッカーフラッグを真っ先に受けるライダーは如何に?

(佐藤寿宏)

予選3番手／津田拓也

POLE POSITION
INTERVIEW

ポールポジション: 1'48.803 (R)
#634 高橋 巧
MuSASHi RT/ハルケプロ

『金曜日は、思った以上にタイムが伸びず、どうしようかと思っていたのですが、Q1でベースを作ることができたので、Q2では、コースレコードを出そうと思っていました。それがクリアできてポールポジションも獲れたので良かったです。事前テストでロングランできていましたし、調子がつかめていたことが、タイムが出た要因だと思います。決勝朝のウォームアップ走行で最終確認をしていいレースがしたいです。前回のオートポリスでは、中須賀選手がケガをしていたので勝つことができましたが、今回は、体調も回復しているようなので、いい勝負ができると思います。津田選手も速いのでトップ争いに絡んでくると思います。その中で、しっかり勝つのが目標です』



予選6番手／山口辰也

**QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW**

(レース1&2予選)山田誓己、ダブルポールを獲得!
 (レース1決勝)鳥羽海渡が最終週の逆転劇で2連勝!



Wポールの山田誓己

【レース1】予選～決勝レース

快晴となったツインリンクもてぎで、最初のセッションとなったJ-GP3クラス公式予選。今回は2レース制でまずはレース1の公式予選でポールポジションを獲得したのは、ゼッケン1をつける山田誓己。タイムは、2分00秒412。

レース1決勝レース、ホールショットは山田誓己が奪い、大久保光、水野涼、鳥羽海渡、古市右京と続く。中盤に入ると、山田を先頭に鳥羽、大久保、水野、予選13番手からジャンプアップしてきた岡田義治がトップ集団を形成する。その後ろでは徳留真紀、古市、関野海斗、作本輝介が激しく争う。

レース終盤は山田と鳥羽のマッチレースとなった。緊張感の漂う中、山田と鳥羽は順位を入れ替えながら最終周回に突入する。5コーナー、V字コーナーとお互いに順位を入れ替えてきたトップ争いだったが、鳥羽が90度コーナーで山田のインに入りトップに浮上、そのまま抑え切って2連勝を飾った。



レース1決勝のトップ争い



レース1決勝 正式結果(上位10位まで)

●予選: 天候/晴 路面/ドライ 出走39台
 ●決勝スタート/12:00(16周)

Pos No.	Name	Team	Time
1	67 鳥羽 海渡	TEC2 & NOBBY & TDA	32'31.979
2	1 山田 誓己	リベルトPLUSONE&ENDURANCE	32'32.021
3	634 水野 涼	MuSASHi RT/ハルケプロ	32'41.125
4	51 岡田 義治	PLUSONE&渉太郎&48	32'41.406
5	3 大久保 光	Hot Racing	32'41.505
6	7 徳留 真紀	Tome Team PLUSNOE	32'48.573
7	20 関野 海斗	P.mu 7C HARC	32'48.685
8	33 作本 輝介	Club PARIS RSC	32'48.933
9	19 古市 右京	KTM RACING. ASPIRATION	32'48.933
10	56 小室 旭	テルル&EM★KoharaRT	32'56.758



【レース2】ポールポジション:
2'00.170
#1 山田 誓己
リベルトPLUSONE&ENDURANCE

『レース1の予選は直後にレースを控えていたので、レースのためのセッティングをしながらの予選となりタイムを詰め切れませんでした。レース2の予選は何も考えずただタイムを出すことだけに集中して走りました。その結果、今シーズンの(自己)ベストタイムを出すことができましたが、狙っていたのはコースレコードタイムでしたので(レコード更新できず)とても悔しいです。

2戦連続の2位は凄く悔しいですが、そのイメージを残さず気持ちを切り替えて、明日のレース2ではポールtoウィンできるように頑張ります』

J-GP2
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

高橋裕紀が圧倒的なタイムでポールポジション!! 「今回もスタートから全力全開でいきます!」



ポールポジション: 1'52.182(R)
#72 高橋 裕紀
MORIWAKI RACING

『事前テストと昨日の路面状況が大きく違って、自分もチームもセッティングに悩んでしまい、有耶無耶のまま終わったという感じてた。今日は悩んでも仕方ないので、何も変えず、それこそテスト時のまま、予選中も走りタイムアップに集中して、ピットではタイヤ交換だけのつもりで走りました。それで持ち直して、ポールポジションを取れたので満足しています。明日の決勝も前回同様、自分の走りをするに徹します。特に(2番手の)浦本選手を始めブリヂストン勢が調子良いので、それに負けないように序盤から全開で走ります!』

J-GP3に続いて行なわれたJ-GP2の公式予選。開幕戦となった前回オートポリスでの優勝をポールトゥウィンで飾った高橋裕紀が、セッション開始早々に1分53秒台に入れて飛ばす。渡辺一馬、浦本修充も53秒9で2番手、3番手で続く。しかし、高橋はその後周回を重ねる毎にタイムアップ。53秒045をマークしてセッションを折り返した。

終盤に入り、52秒588、52秒442とタイムをさらに上げた高橋は、残り5分を前にして52秒182

の最速タイムをマーク、圧倒的なタイムでポールポジションを獲得した。

2番手には浦本が52秒814、3番手以降には生形秀之が53秒373、大木崇行53秒847、井筒仁康53秒925で、渡辺は僅かにタイムを上げたものの53秒967で6番手で終えた。ここまでが従来のレコードタイムを上回る激戦の予選セッションとなった。

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

チャランポン・ポラマイが只一人1分54秒台で ポールポジションを獲得!!



ポールポジション: 1'54.924
#65 Chalermpon POLAMAI
Yamaha Thailand Racing Team

『金曜日のテスト走行も好調で、今日もセッティングもうまく進み、気持ち良く走れました。台数が多くて難しい場面もありましたが、順調に進められたことは自分でも満足しています。決勝レースについては決まった作戦はなく、その時々状況次第で考えていると思っています』

ST600クラスの公式予選セッションは、序盤、小林龍太が1分55秒971、横江竜司が55秒711とトップを入れ替えるが、10分経過の前にチャランポン・ポラマイが54秒924をマーク、トップを奪う。その直後に前回3位表彰台の伊藤勇樹も55秒200をマークして2番手に浮上するが、2コーナーで転倒、マシンがコース上に残り、セッションは赤旗で中断となってしまう。

コースがクリアになり10時10分にセッションは再開された。アタックが激しくなったのは、セッション

の終盤。岩崎哲朗が55秒台に入れると、55秒047まで上げて2番手に浮上。さらに中盤以降もじわじわとタイムを更新し続けていた小林も最後のアタックで55秒164までタイムを更新して3番手となった。

しかし、54秒台は唯一チャランポンのみで、ポールポジションを確定した。もてぎで2年連続勝利のチャランポンを巡りレースはヒートアップしそうだ。



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走42台
●決勝スタート/14:10(19周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	634	高橋 巧	MUSASHI RT/ハルクラブ	CBR1000RR	R 1'48.803
2	1	中須賀 克行	ヤマハ YSP レーシングチーム	YZF-R1	R 1'48.882
3	12	津田 拓也	ヨムラスズキエルアドバンス	GSX-R1000L4	1'49.177
4	26	渡辺 一樹	TEAM GREEN	ZX-10R	1'49.294
5	87	柳川 明	TEAM GREEN	ZX-10R	1'49.337
6	104	山口 辰也	TOHORacingwithMORIWAKI	CBR1000RR	1'49.697
7	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	1'50.510
8	39	酒井 大作	Flex D.R.E. Motorrad39	S1000RR	1'51.623
9	31	野左根 航汰	NTS チームノリック ヤマハ	YZF-R1	1'51.650
10	32	今野 由寛	MOTOMAPSUPPLY	R1000L4	1'52.188
以上ノックアウトQ2トップ10チャレンジにて決定:					
11	85	中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R1	1'52.364
12	33	藤田 拓哉	DOGFIGHTRACING-YAMAHA	YZF-R1	1'52.693
13	14	清水 郁巳	ホンダドリーム高崎B'WISE R.T	CBR1000RR	1'52.921
14	16	中村 知雅	チーム トモサ	CBR1000RR	1'53.534
15	78	井上 哲悟	PITCREW&松戸FLASH	ZX-10R	1'54.347
16	11	吉田 光弘	Honda熊本レーシング	CBR1000RR	1'54.571
17	13	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	1199PanigaleR	1'54.917
18	22	山中 正之	HondaQCT明和レーシング	CBR1000RR	1'55.784
19	41	清水 佑生	浜松チームタイタン	GSX-R1000	1'55.819
20	27	中澤 孝之	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	YZF-R1	1'55.896
21	15	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	1'55.912
22	89	佐藤 宏司	motoalpha.com	GSX-R1000	1'56.220
23	62	澤村 元章	磐田レーシングファミリー	YZF-R1	1'56.798
24	18	原田 洋孝	RSガレージハダ姫路	ZX-10R	1'56.920
25	93	河野 浩之	CLUBNEXT&MOTOBUM	CBR1000RR	1'56.991
26	47	塩原 弘志	S-SPPLY&おやじ組	GSX-R1000	1'57.097
27	30	井上 健志	炎R	CBR1000RR	1'57.192
28	56	中根 裕	中村エンジン研究所	YZF-R1	1'57.424
29	49	中村 勇志	レンタルバイク横浜・丸富オート	1190RC8R	1'57.521
30	77	筒井 伸	DOGFISHオーテックスズカ	CBR1000RR	1'57.567
31	69	犬木 翼	浜松チームタイタン	GSX-R1000	1'57.573
32	54	大橋 靖洋	HondaブルーヘルメットMSC熊本	CBR1000RR	1'57.724
33	88	倉山 寿生	Honda向陽会ドリームレーシングチーム	CBR1000RR	1'58.136
34	58	佐藤 慎一郎	佐藤家レーシング	GSX-R1000	1'58.198
35	113	本田 恵一	Honda EG レーシング	CBR1000RR	1'58.400

以上予選通過車両:

36	84	古庄 豊	NRプロジェクト	GSX-R1000	1'58.499
37	68	中澤 純也	S-SPPLY・AI&おやじ組	GSX-R1000	1'58.721
38	73	菊地 敦	TEAM-WILD☆HEART	CBR1000RR	1'58.747
39	61	森 健祐	HondaブルーヘルメットMSC熊本	CBR1000RR	1'58.878
40	94	鈴木 收	☆彩球軍団ワークス☆	GSX-R1000	2'00.255
41	83	喜多田 学	(有)成田総合TS関東+ストラトス	1199Panigale	2'04.393
135	寺本 幸司	Team Tras 135HP	S1000RR HP4		出走せず

以上 ノックアウトQ1にて決定:

"R"マークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 1'49.019

予選通過基準タイム (108 %) 1'58.411



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走39台
●決勝スタート/15:30(18周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	65	Chalempol POLAMAI	Yamaha Thailand Racing Team	YZF-R6	1'54.924
2	7	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'55.047
3	24	小林 龍太	ミストレーサーwith HARC-pro.	CBR600RR	1'55.164
4	76	伊藤 勇樹	Petronas.Yamaha.Malaysia	YZF-R6	1'55.200
5	2	横江 竜司	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'55.240
6	104	國川 浩道	TOHO Racing p.w.d by モリワキ	CBR600RR	1'55.610
7	69	津田 一磨	WestPower SUZUKI	GSX-R600	1'55.681
8	12	篠崎 佐助	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'55.703
9	18	日浦 大治朗	Honda鈴鹿レーシング	CBR600RR	1'55.821
10	33	岡村 光矩	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'55.860
11	45	石塚 健	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'55.878
12	6	稲垣 誠	AKENO・SPEED・MIC	YZF-R6	1'56.132
13	13	高橋 嶺	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'56.271
14	20	中山 真太郎	TEAMしんたろう with KRT	CBR600RR	1'56.381
15	14	近藤 湧也	GBSレーシング-YAMAHA	YZF-R6	1'56.587
16	22	奥野 翼	AKENO SPEED	YZF-R6	1'56.951
17	34	中本 都	リリカ AMENA RT with OUTRUN	YZF-R6	1'56.953
18	16	宮嶋 佳毅	TOHO Racing p.w.d by モリワキ	CBR600RR	1'57.318
19	97	佐野 優人	SRS-J with MORIWAKI	CBR600RR	1'57.354
20	32	長嶋 修一	石井りんご園モトアルファ	CBR600RR	1'57.549
21	36	松川 泰宏	MOTOBUM+SAI	CBR600RR	1'57.569
22	82	田中 歩	AKENO SPEED	YZF-R6	1'57.709
23	51	宗和 孝宏	51ガレージ チームイワキ	YZF-R6	1'57.803
24	21	中津原 尚宏	研友会栃木PGR+ATS	CBR600RR	1'57.824
25	29	豊田 浩史	D.REX Racing Triumph	DAYTONA675	1'58.125
26	64	矢田 栄一郎	RT OutRun	YZF-R6	1'58.200
27	56	前田 恵助	伊藤レーシングGMDスズカ	YZFR6	1'58.224
28	59	若松 宏	Team YSP三鷹	YZF-R6	1'58.329
29	39	小倉 章太郎	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	1'58.604
30	40	嶋川 直宏	D.REX Racing Team Triumph	デイトナ675トリプル	1'58.948
31	705	黒川 武彦	保険職人SPEED Party	ZX-6R	1'59.160
32	77	澤村 俊紀	ホンダドリーム高崎B'WISE R.T	CBR600RR	1'59.335
33	37	中山 智博	Team91&孫悟空	ZX-6R	1'59.461
34	72	川口 篤史	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR600RR	1'59.742
35	60	遠藤 恵太	研友会栃木PGLレーシング	CBR600RR	2'00.255
36	58	平野 伸一	I&I・FACTORY	CBR600RR	2'00.357
37	57	飯島 高広	中村エンジン研究所	YZF-R6	2'00.461
38	80	稲川 貴志	日光 稲川塾&常夏ファクトリー	CBR600RR	2'00.858
39	54	林和 明	南海小山&オーテック&YERC	CBR600RR	2'01.145

以上予選通過車両:

予選通過基準タイム (110 %) 2'06.416



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走26台
●決勝スタート/12:55(18周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	72	高橋 裕紀	MORIWAKI RACING	MD600	R 1'52.182
2	634	浦本 修亮	MUSASHI RT/ハルクラブ	HP6	R 1'52.814
3	2	生形 秀之	エスバルスドリームレーシング	GSX-MFD6	R 1'53.373
4	13	大木 崇行	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	R 1'53.847
5	77	井筒 仁康	WILL-RAISE&RS-I	ZX-6R	R 1'53.925
6	47	渡辺 一馬	テルル&EM★KoharaRT	KALEX	R 1'53.967
7	44	関口 太郎	Team TARO PLUSONE	TSR2	1'54.008
8	5	岩田 悟	NTST.ProProject	NH6	1'54.262
9	71	小山 知良	NTST.ProProject	NH6	1'54.266
10	6	長島 哲太	ブラリアート&テルル TSR	TSR2	1'54.343
11	7	Decha KRAISART	ヤマハタイランドRT	TYM-R6	1'54.524
12	392	長尾 健吾	ミクニ テリー&カリー	GSXR600	1'55.258
13	46	星野 知也	SYNEDGE 4413Racing	HP6	1'55.298
14	83	野田 弘樹	テルル&EM★KoharaRT	TSR2	1'55.336
15	73	亀谷 長純	MUSASHI RT/ハルクラブ	NH6	1'55.491
16	15	中村 豊	MOTOBUM+SAI	CBR600RR	1'55.887
17	51	高橋 英倫	PITCREW&松戸FLASH	MXZ-6R	1'56.217
18	11	佐藤 太紀	TEAM PLUSONE	TSR2	1'56.806
19	48	中本 貴也	PITCREW&松戸FLASH	MXZ-6R	1'57.923
20	29	山村 良憲	GBSレーシング YAMAHA	YZF-R6	1'57.777
21	22	鎌田 悟	TOHO Racing+おでんセイハートブ	MD600	1'59.361
22	26	小口 理	ALLMAN&OWRACING	YZF-R6	1'59.946
23	21	小口 亘	ALLMAN&OWRACING	YZF-OWR6	2'00.301
24	79	朝比奈 正	アサヒレーシング	Z600	2'00.797
25	16	赤間 清	ミストレーサーwith HARC-pro.	HP-6	2'02.311

以上予選通過車両:

参加台数 25 台 出走台数 25 台

予選通過基準タイム (110 %) 2'03.400

"R"マークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 1'53.975



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走39台
●決勝スタート/10:40(18周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1		山田 哲己	リベルトPLUSONE&ENDURANCE	NSF250R	2'00.412
2	3		大久保 光	Hot Racing	NSF250R	2'00.959
3	67	Y	鳥羽 海渡	TEC2 & NOBBY & TDA	NSF250R	2'01.031
4	634	Y	水野 涼	MUSASHI RT/ハルクラブ	NSF250R	2'01.243
5	7		徳留 真紀	Tome Team PLUSONE	NSF250R	2'01.706
6	19		古市 右京	KTM RACING. ASPIRATION	RC250R	2'01.744
7	20	Y	関野 海斗	P.mu 7C HARC	NSF250R	2'01.862
8	33	Y	作本 輝介	Club PARIS RSC	NSF250R	2'01.890
9	56		小室 旭	テルル&EM★KoharaRT	NSF250R	2'02.051
10	9	Y	北見 剣	ウイダーHot Racing.iF	NSF250R	2'02.168
11	31	Y	岩戸 亮介	Club PARIS RSC	NSF250R	2'02.202
12	39	Y	伊藤 和輝	Kohara Racing	NSF250R	2'02.327
13	51		岡田 義治	PLUSONE&渉太郎&48	NSF250R	2'02.359
14	41		宇井 陽一	41Planning	IODA	2'02.504
15	18		瀧田 展史	ウイダーHot Racing.iF	NSF250R	2'02.551
16	27	Y	栗原 佳祐*2	CLUB HARC-PRO	NSF250R	2'02.762
17	22	Y	中山 翔太	TECHNICA with KUSHITANI西宮	NSF250R	2'02.781
18	35	Y	伊達 悠太	犬の乳酸菌jp/プリミティブR.T.&バトルF	NSF250R	2'02.854
19	10		菊池 寛幸	TEC2 & NOBBY & TDA	NSF250R	2'02.879
20	88		Astra Honda Racing Team	Astra Honda Racing Team	NSF250R	2'02.883
21	15	Y	山元 聖	P.MU 7C HARC	NSF250R	2'02.911
22	66		大内田 拓	DOGFISH オーテック・鈴鹿	NSF250	2'03.077
23	45	Y	南本 宗一郎	P.MU 7C HARC	TSR3	2'03.229
24	26		高杉 奈緒子	モトバムwithヒボガタマス	NSF250R	2'03.300
25	46	Y	長尾 健史	TEAMけんけんwithアポロ	NSF250R	2'03.557
26	32		山本 恭裕	広島カンタRacing&LRC	NSF250R	2'03.709
27	98	Y	野村 勝人	SRSwithMORIWAKI	MD250GP3	2'03.768
28	36	Y	吉田 光	CLUBNEXT&MOTOBUM	NSF250R	2'04.013
29	14		安村 武志	犬の乳酸菌jp/プリミティブR.T	NSF250R	2'04.212
30	30		岡崎 静寛	Kohara Racing	NSF250R	2'04.456
31	52		古澤 幸也	FLEX RacingTEAM	NSF250R	2'04.532
32	28		Troy Guenther	T・ヨシハル&K1Racing	NSF250R	2'04.652
33	99		佐藤 正之	CLUBNEXT&MOTOBUM	NSF250R	2'05.292
34	40		川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	NSF250R	2'05.316
35	38		野澤 秀典	ノザレーシングファミリー	NSF250R	2'05.683
36	43		足立 真衣	Hondaブルーヘルメット	NSF250R	2'05.913
37	93		畑中 要	FTR・タイヤナビ・柳道藤住宅	NSF250R	2'06.201
38	53		小川 亨	MUSASHI 小川サービス	PP250R	2'07.992
39	47		渡邊 大樹*1	NAVY AUTO	NSF250R	2'08.690

以上予選通過車両:

Y=YouthCup登録ライダー

予選通過基準タイム (110 %) 2'12.453

INFORMATION



今年も全日本ロードレース完全無料放送!! 「毎週月曜夜8時はバイクの時間」がキーワード!

2014年シーズンも全日本ロードレース選手権はシリーズ全戦をレース開催8日後に「BS12 TwellV(トゥエルビ)」で完全無料放送。現場ではカバーできなかったシーンや迫力のバトル、車載カメラによる映像など、あらためてお楽しみください!!

■放映スケジュール

第3戦ツインリンクもてぎ 6月2日(月) 20:00~20:54

MFJスーパーバイク公式Facebookページ開設!

<https://www.facebook.com/superbike.jp>



MFJスーパーバイク公式Facebookページを開設しました。

ファンサイトのニュースやインフォメーションでは伝えきれないこと、レースの現場からのリアルな情報など、お届けしたいと思います。